

<保護者のみなさまへ>

## これからの学校教育のあり方に関するアンケート調査 ご協力のお願い

みなさまには、日ごろから町の教育行政へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

近年田原本町では、園児・児童・生徒数が減少し続けており、地域差はあるものの各学校・幼稚園では、少しずつ小規模化が進んでいます。現状のまま園児・児童・生徒数の減少による対応を行わないことで、クラス替えができない、運動会などの行事に制約が生じる、PTA活動等の保護者負担が大きくなる等の問題が考えられます。こうした問題は全国でもみられ、平成27年1月には文部科学省から「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が発表されました。

こうした状況を受けて田原本町教育委員会では、将来にわたって子どもたちによりよい教育環境を確保・維持するため、多角的に検討をはじめています。

このアンケート調査は、日頃から教育行政に携わる保護者の皆さまの声をお聞きし、今後の教育環境について考えるための参考資料とさせて頂きたく、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

田原本町長 森 章浩

### ご記入にあたってのお願い

1. 幼稚園及び保育所・小学校・中学校についての質問が含まれています。お手数ですが、現在のお子さまの属性情報や学校に関するお考えやご意見をご記入ください。
2. 当アンケート用紙が配布された学校に関する内容をご回答ください。  
(例：当アンケートが田原本小学校から配布されたものであれば、田原本小学校の事について回答ください)  
(例：ご家庭に2人以上のお子さまがいらっしゃる方(アンケートを2部以上配布)はお手数ですが、お子さまごとにアンケートにご回答ください)
3. 幼稚園・保育所に通われているお子さまの保護者の方は問4以降の質問については小学校に上がった場合を想定してご回答ください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に具体的な内容をご記入ください。
5. ご記入いただいた調査票は、**6月22日(月)**までに、お子さまを通じて各学校(園・所)へご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

田原本町教育委員会事務局 教育総務課

電話：0744-34-2074

FAX：0744-32-2977

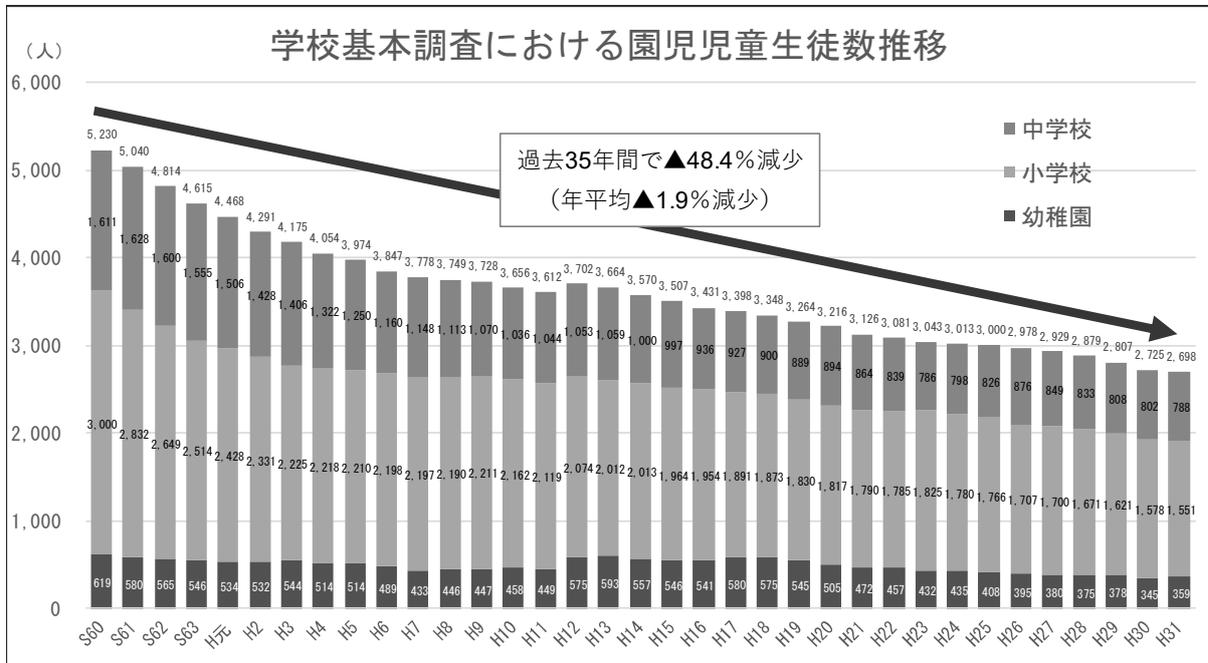
## 「田原本町の園児・児童・生徒数及び教育施設の現状」

本町の園児・児童・生徒数は過去35年間で約48%減少しています。

このような状況から、学校内のクラス数及び各クラスの人数においても、一部の園及び学校では町内の他の園・学校と比べて少なくなっています。

今後も町内の少子化が予想され、各教育施設においてはクラスの人数及びクラス数の減少が考えられます。平成27年1月には文部科学省から発表された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の標準となる学級数・クラスの人数の数値を踏まえつつ、これからの教育環境を継続的に維持していくためには、対応方策を検討する必要があります。

また、田原本町に現存する教育施設の大半は築年数が30年以上経過しており老朽化が進行していることが予想されるため、ハード面からも教育環境維持の対応について検討する必要があります。



### ■国の学級編制の標準

	1学級あたり児童・生徒数	学級数	通学距離（通学時間）
小学校	40人 (1年生は35人)	12～18学級 (1学年あたり2～3学級)	4km以内 (おおむね1時間以内)
中学校	40人	12～18学級 (1学年あたり4～6学級)	6km以内 (おおむね1時間以内)
幼稚園	35人以下 (同じ年齢にある幼児で編制)	同じ年齢にある幼児で編制	-

お子さまについてお聞きします。

問1 お子さまの性別を教えてください。(ひとつに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 お子さまの年齢を教えてください。(ひとつに○)

1. 乳児 (0～2歳)	2. 幼児 (3～6歳)
3. 小学1～2年生	4. 小学3～4年生
5. 小学5～6年生	6. 中学生

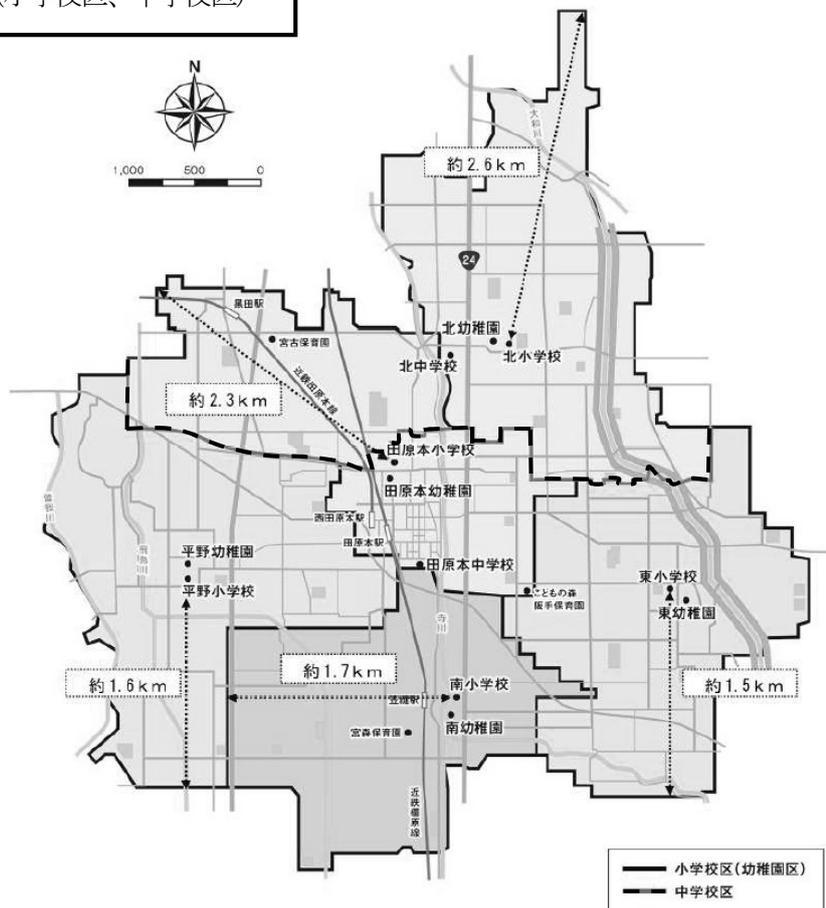
問3 お子さまの居住地区(小学校区)について教えてください。(ひとつに○)

1. 東小学校区	2. 北小学校区
3. 田原本小学校区 (田原本中学校区※ <sup>1</sup> )	4. 田原本小学校区 (北中学校区※ <sup>2</sup> )
5. 南小学校区	6. 平野小学校区

※1 田原本中学校区: 旧田原本町全域・阪手北・阪手南・阪手西・保津 (1～11、13-2～13-13)、柳町 (秦庄 456)、南阪手グリーンタウン、ピアッツアコート one、阪手根太、新町 (75 は除く)、新町 75-3、西新町 (67、77～88、89 - 1～103、110～116、120～121、125～214、373～374、377～378 は除く)

※2 北中学校区: 宮古、富本、黒田、石橋団地、八尾、中八尾、西八尾、八尾池之内、新八尾第1、南八尾、西新町(新町 67、77～88、89 - 1～103、110～116、120～121、125～214、373～374、377～378 を含む)、新町 75 番地(新町 75 - 3 は除く)

学校区域図 (小学校区、中学校区)



適切な教育環境についてお聞きします。

※問4以降の設問については幼稚園・保育所に通われているお子さまの保護者の方は、お子さまが小学校に上がった場合を想定してご回答ください

問4 現在の学校のクラス数は1学年当たり何クラスが望ましいと思いますか。  
(ひとつに○)

1. 1クラスがよい	2. 2～3クラスがよい
3. 4～5クラスがよい	4. 6クラス以上でもよい
5. 複式クラス※ <sup>1</sup> （複数学年が1学級）でもよい	

※1 複式クラスとは…学年ごとにクラスを編成するのではなく、複数学年で1クラスにする学級編制のこと

問5 児童・生徒数は1クラス何人位が適切だと思いますか。(ひとつに○)

1. 10人程度	2. 20人程度
3. 30人程度	4. 40人程度
5. その他 ( )	

問6 現在の学校の教育環境について、以下①から⑩の項目に対してそれぞれ「1 そう思う」から「4 そう思わない」のうち、最も当てはまるものに丸「○」を一つ付けてください。

項目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
① 一人ひとりに目が行き届き、丁寧な指導が期待できる	1	2	3	4
② クラス替えがあり、たくさんの友達ができる	1	2	3	4
③ さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに切磋琢磨できる	1	2	3	4
④ ゆとりのある教育が受けられる	1	2	3	4
⑤ 協調性を養う機会に恵まれる	1	2	3	4
⑥ 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる	1	2	3	4
⑦ 学校行事での活躍の場が豊富になる	1	2	3	4
⑧ 同じ児童とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる	1	2	3	4
⑨ 学年を越えた友達ができやすい	1	2	3	4
⑩ 学校施設の整備状況は充実している	1	2	3	4

学校配置の今後の在り方についてお聞きします。

問7 適切な教育環境を維持向上していくために、児童・生徒数が低下している状況を踏まえつつ、どのように対応して行くことが良いと考えられますか。(ひとつに○)

1. 現行のままの学校配置で良い
2. 小規模校を対象に、近隣の学校と統合すべきである
3. すべての学校を対象に、通学区域の見直しや統合をすべきである
4. 国または奈良県・町の方針に基づき適正規模化を進めるべきである
5. その他 ( )

問8 平成29年1月に公表された「田原本町学校・幼稚園の規模及び配置の適正化に関する考え方について(答申)」の中では「統廃合等も視野に入れた検討を早急に進める必要があると考えます」という意見も表明されておりますが、仮に学校の統廃合を実施した場合どのような事が気になりますか。

以下の選択肢番号(1.～7.)のうち、最も当てはまるものを1位の回答欄に、次いで当てはまるものを2位の回答欄に記入してください。

1. 通学区域について
2. 学校を選択手段について
3. 通学距離について
4. 通学方法について
5. 環境変化による子どもへの影響
6. 学校跡地の活用
7. その他 ( )

1位 ( )

2位 ( )

通学区域、学校選択についてお聞きします。

問9 小中学校の通学区域を変更する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。(あてはまるもの全てに○(複数選択可))

1. 通学路は交通量の多い道路や川など、危険な場所がないように配慮する
2. 遠距離通学にならないように配慮する
3. 同じ地区の区域で、通学区域が分かれなように配慮する
4. その他 ( )

問 10 小中学校の学校選択について、どのように思いますか。(ひとつに○)

1. 指定された小中学校に入学させるべきだと思う
2. 指定された小中学校の隣接校なら入学させてもよいと思う
3. 町内の小中学校ならば、どこに入学させてもよいと思う
4. その他 ( )

問 11 小中学校の再配置によって期待することは何ですか。

(○は最大3つまで(複数選択可))

1. 競争意識により学力が向上すること
2. スポーツや文化活動が盛んになり、活気がうまれること
3. 子どもの交友関係が広がり、社会性が身につくこと
4. 教育環境や設備が充実すること
5. 児童・生徒へのきめ細かな配慮がされること
6. 比較的近くに学校・幼稚園があり、通園・通学の負担が少ないこと
7. 幼小の連携が密接であり、小学校への移行がスムーズであること
8. 異年齢間のふれあいの機会が多くもてること
9. 学校施設の開放により、身近な学習やスポーツの場の提供など、地域活動の充実
10. 先生が地域の一員として、地域の知識や技能を習得し、地域の特徴や素晴らしさを子どもたちに伝えること
11. 学校と地域の情報交換を進めるなどで、子どもたちの日常生活を地域が支える関係をつくること
12. 安全で安心な学校づくりに向けて、緊急時の防犯システム等を備えた学校づくりを行うこと
13. 期待することは特にない
14. その他 ( )

問 12 前述の質問で「13. 期待することは特にない」と回答いただいた方に伺います。

そう思われている理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○(複数選択可))

1. 町内のどの学校に通うことになっても教育内容、環境に大きな差異が生じるものではないと考えるため
2. 町外の学校へ転校する予定があるため
3. 教員の質や教育内容が本質的に変わるわけではないため
4. 地域性の問題から学校再配置は難しいと考えているため
5. 学校における学習、教育環境に対して関心がないため
6. 詳細な計画が提示されておらず具体的な利点が理解できないため
7. その他 ( )



